

波止浜水門並に堤防工事について

愛媛県土木部河川課長 川 口 正 弥
同 技 師 ○ 渡 辺 儀 三 郎

昭和21年12月に発生した南海地震后、愛媛県沿岸線全域に亘って地盤が沈下し、現在も尚この現象を継続している。

この地盤変動対策事業として港を締切つて防潮堤を築造し、そのほぼ中央に3径間総通水巾30mの水門を築造するものとする。この堤防を築造することにより背後に面積約19ha、容量約600,000m³の遊水池が造成せられるが、これは高潮と降雨が同時に襲来した場合に門扉閉鎖時間内に遊水池に流入する雨水を貯涵せしめて機械排水を省くものとする。水門工事は現在殆んど完成し、堤防の一部を施行する計画であるが、次の諸点について報告したい。

1. 水門仮締切工事の安定
2. 水門の設計
3. 水門部の水理計算
4. 堤防工事の安定